



社会福祉法人 大塚子どもふれあい館
のぞみの会 「ゆめの木」

分園長 関 弘子
平成29年5月発行 No.106

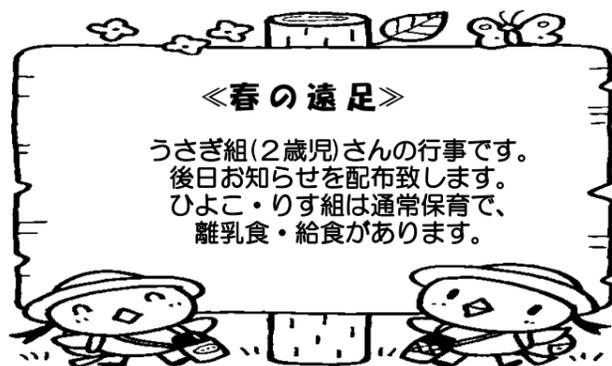
五月となり若葉も色濃くなりました。
お子さんも、保育園に入り一ヶ月が過ぎ、生活には慣れましたでしょうか。
家庭ではお母さんの援助を受けながら生活していましたが、少しずつ成長すると、食事は離乳食から
幼児食へと移行し、自分でスプーンを使って食べられるようになります。
園での食事はみんな同じ物を食べます。日々の食事を事務室前に展示してありますのでご覧ください。

1歳前後のお子さんは日々成長・発達が著しいです。
お座り、ハイハイ、つかまり立ち、そして歩行できるようになります。
まだオムツは外せない年齢、夜寝るときも添い寝も必要です。大人の援助が必要です。
家庭においても、丁寧にそのこの発達に応じた援助をしてあげてください。順序も自分の思いでやる子など、
きちんとしていません。順番など他の子どもがしていると、自分もやりたい、友達への配慮などは、まだ、
できません。これから、一步一步、成長・発達して行くことと思っています。

園長 石坂孝喜

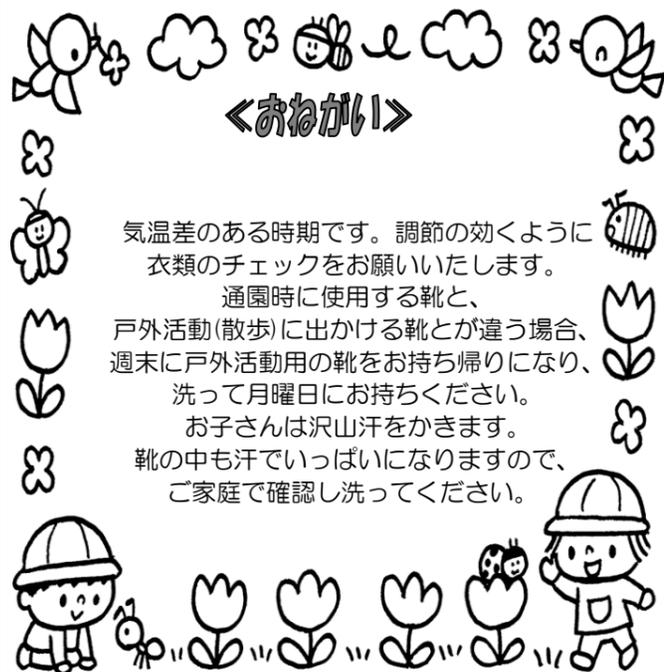


- 9日 (火) 身体測定
- 18日 (木) 全園児健康診断
- 19日 (金) 誕生会
- 22日 (月) 避難訓練
- 26日 (金) 春の遠足(うさぎ組)



《保護者懇談会》

お忙しい中たくさんの方に
ご参加いただきありがとうございます。
ひよこぐみさん・りすぐみさんは、
お子さんの名前の由来をお聞きました。
皆様のお子さんへの思いが込められたお名前、
改めてお子さんへの愛情を感じました。
また、モンテッソーリ教育についてお話しした後、
うさぎぐみさんの保護者の方々に
実際お仕事をやっていただきました。
皆さん楽しそうにやっていただいたのですが、
お子さん達がやっていると考えたと…
皆さんびっくりされていました。
お子さんの持っている力のすごさです。
「やりたい、難しいけど頑張る、出来た」の
繰り返しから着実に力をつけ
自信をつけ自分を創り上げていきます。
お気づきの事がありましたら担任または、
職員にお声をかけてください。
引き続きご理解とご協力をお願いいたします。



《敏感期》 4月の懇談会でお見せお話ししたように、子どもたちの成長の過程で見られる”敏感期”を
これから園だよりで、お知らせしていきます。

ひよこぐみさん、運動に敏感期!

動くのが楽しくて・・・
くるんと回ったら、目に入るものが違うよ!
くるくる寝返ると移動できる
身体全身を使って動くのが楽しい時です。



次は、僕だよ

どこでも
行けるよ



りすぐみさん、落すことに夢中

隙間や穴を見つけて、ボールや細い楊枝や小さいおはじきを落として、また出して落とす繰り返しを楽しんでいます。
また、少しずつ友達も興味が出てきて、お友達の傍によって、そっと何してるのと覗いてみたり一緒にやりだしたりしています。



みんな
入っちゃった

どこに
入れようかな..



何してるの?
一緒にやろう

牛乳ごーど



テーブルで
お仕事しますが
無理はしません。
やりたい気持ちを
大切にしています。



いただきまーす

うさぎぐみさん、ルールがわかってきました☆

うさぎぐみさんになって1ヶ月が過ぎ、すっかりお兄さん、お姉さん気分になったうさぎぐみさん。
順番やタオル・帽子の片づける場所がわかり、きちんとしたいという秩序感が芽生えてきました。
先日のだけのこの皮むきでも、順番や役割がわかりそれぞれの役わりをきちんとこなしていました。
公園でも、出かけた公園でのルールを聞いた後遊んでいます。



ここ持ってね

ここは〇〇公園です
道路へは出ません。
スプリング遊具は、
遊んでもいいです。



ボール一緒にやろう



待ってね順番...



グループごとに、一緒に挨拶をして食べます。
ごはん、主菜、副菜、汁物とバランスよく
食べようとする姿が見られてきました。

